

## 保育士配置基準の見直しについて

### 1. 概要

- (1) 国の「こども未来戦略（令和 5 年 12 月 22 日閣議決定）」において、今後安心してこどもを預けられる体制整備を急ぐため、保育士の配置基準の改善を図り、同最低基準の改正を行うこととされた。
- (2) これを受け、令和 6 年 3 月 13 日付で、各教育・保育施設において従事する職員等の数を定めた規定のうち満 3 歳及び満 4 歳以上児の職員配置基準に関する改正後の国の基準が公布され、令和 6 年 4 月 1 日付で施行された。
- (3) あわせて、基準の改正にあたり、教育及び保育の提供に支障を及ぼす恐れがあると認めるときは、当分の間、改正前の基準を適用する旨が通知された。

年齢	従前の国の基準	新たな国の基準
3 歳児	20 人	15 人
4・5 歳児	30 人	25 人

※「こども未来戦略」において、1 歳児の配置基準については、保育人材の確保等の関連する施策との関係も踏まえつつ、2025 年度以降で加速化プラン期間中の早期に 6 対 1 から 5 対 1 への改善を進める、とされている。

### 2. 本市の考え方

- (1) 保育士配置基準の見直しについては、保育士の負担軽減や保育の質の向上につながりますが、国の基準改正日（令和 6 年 4 月 1 日）に適用した場合、次の影響があることから、本市では当該日に基準を適用せず、経過措置を適用する旨を各事業者あてに周知しました。（令和 6 年 2 月 29 日付）
  - ・現行基準に基づき職員を配置している施設（例：5 歳児・30 名）は、基準が改正されると保育士 1 人で 25 名までしか保育できなくなる。そのため、引き続き 5 歳児・30 名の保育を行うためには、令和 6 年 4 月までに職員の増員が必要となり、職員が配置できない場合、既に受入りを内定した児童を受入れできなくなるおそれがある。
- (2) また、令和 6 年 5 月から 6 月にかけて、本市において基準の改正を実施した場合の事業者への影響等を把握するための意向調査を保育所・認定こども園あてに実施しました。その結果、児童の受入れや保育士の配置については、基準改正後も影響がないとの回答した事業者の多くが、職員採用など施設側の準備期間の確保を理由として、実施 2 年前の周知を希望する、との回答でした。

### 3. 今後の対応について

- (1) 国の基準の改正を踏まえ、本市の基準を規定する条例についても改正を予定しており、令和7年第1回定例会に改正議案を提出しています。
- (2) 新基準の適用については、市内保育施設等の利用状況や職員採用等の準備期間を求める事業者の皆様のご意見などを踏まえ、令和9年度以降の適用開始を見据えるとともに、施設の職員体制など事業者の皆様の状況を十分に把握したうえで、新たな基準の適用開始時期を判断してまいります。

幼保企画課

TEL : 022-214-8185

Mail : kod006162@city.sendai.jp